

投稿写真



5月に前須賀から船越湾を撮影
山の内弁当（船越・？）



境内に純白の蓮が咲いていました
海蔵寺（船越・？）

みんなの スペース

◆あて先・問い合わせ

〒028-1392（住所不要）山田
町役場総務課情報係（☎82-
3111内線417）へどうぞ。

イラストコーナー



田鎖沙耶香（豊間根・23）



もず@エノモトー
（大浦・13）



マメシバ（飯岡・13）



皆さんの投稿
お待ちしております



佐藤 啓子（船越・36）

夏日和
太陽の夏の陽ざしの
暑さに負けない
福幸笑顔日和

内館 洋一（飯岡・71）

さらさらと光る人生なくてよし
私の人生私がこなす
裸にて生まれて来たになに不足

佐藤 兼男（荒川・87）

・拉致家族今度こそ正夢と頼つねり
・飲酒より脱法ハーブの事故多発
・港神戸号泣県議で名を広め

沢まさ子（山田・？）

久々にマンガスチンを求め来て
娘と行きしタイを忍びぬ
吹く風に身を委ねつつ今頃は
はまなすの花咲くやふるさと

やまだ文芸広場

町長室から

いよいよ大沢地区でも基礎の撤去が始まり、山田の全地区で復興工事が進んでおります。浜川目地区では4500年前の住居跡の遺跡が発見されました。私も見学し縄文のロマンに浸ったところです。一日も早く遺跡調査が終了し、工事に着手できるように祈るばかりです▼工事が進む中において多くの問題が出てきます。下水道処理場予定地仮設住宅の移転問題もその中の一つです。いくら仮設とはいえ生活をすれば愛着もわいてきます。友人もできます。行政としては住民の立場に立った心ある対応をしなければなりません▼その中の一人から「我々も町の復興に反対するものではありません。今回の問題を糧として、今後もしっかりと対応するようにしてください」というアドバイスを受けました。今後、町行政を推進していく上で、肝に銘じておきたいと思っております。ご協力感謝いたします。

山田町長 佐藤 信逸

コーラス泉の会で会員募集中



コーラス泉の会では、随時会員を募集しています。小学生から熟年者まで、合唱が好きな方であれば大歓迎。一緒に歌ってみたい方は、お問い合わせください。

▷練習日 毎週土曜日もしくは日曜日

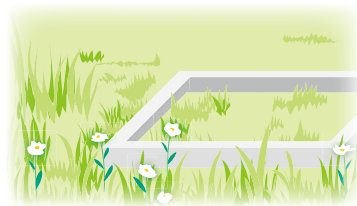
※1週間ごとに交互に実施しますので、詳しい日程についてはお問い合わせください。

▷練習場所 町中央コミュニティセンター

▷会費 ▶大人…1,500円/月▶学生…500円/月

◆問い合わせ コーラス泉の会(豊間根☎82-2529または澤田☎080-2819-3406) へどうぞ。

はえ取り花



私の宅地周辺は、境界が原型のまま残っているの、宅地跡に帰ります。早朝、

閑散とした地区広野には大型機材が建ち、用地造成がすすんでいるようです。

一瞬に失せた地区を朝陽は煌々と、照り輝き、心はずめて歩いてみると、どこからともなく、ウグイスの鳴き声が「ほーほけちよ、けちよ、けちよ」と、慰めるように聞こえてきました。

ことは、宅地跡に「はえ取り花」が咲き満ちていました。自給自足の子どもの頃、畑の行き帰りに母と手折りした、懐かしい風景を思い浮かべて、童心にかえりながめました。

震災で諸々の境遇にあいながらも、よく乗り越えてきたなあ

と案じる両親の声と、がんばらなくてもいいんだよ、のんびり生きて、と「はえ取り花」から聞こえてくるようで、しばしの間、幻想にたつぷり浸った心地よい朝のひとときでした。

幼き日 母と手折りし野辺の花
宅地のあとに 恋しきのます

菊地 サカエ(織笠・79)

声が聞こえなくなつた「カッコウ」

私の家は、三方緑に囲まれた、山の懐にあるので、野鳥の宝庫となっています。

春の雪解けと同時に、春を告げるかのように鳴くのがウグイス。この鳥は、一つの沢を自分たちがいの縄張りの宿として、他のものを寄せ付けないという習性があると、物の本に書いてありました。

自分をアピールするかのようにな「ホーホケキョ」と、誰もの耳に聞こえる美声は、いまさら私が言うまでもありません。

次に聞こえてくるのが、夏を待ちかねているかのように声の限りに鳴いている、ホトトギスではないでしょうか？

ホトトギスの鳴き声には、嫁と姑との無情な説があると聞いたことがあります。

このように、季節ごとに小鳥

のさえずりにも変化があります。が、その中でふと気になったのが、カッコウの鳴き声です。

いつもであればホトトギスと同時期ぐらいに

「カッコウ、カッコウ」と美声を競うかのようでした。それがいつの間にか、山の頂から頂へ、峰から梢へと、飛んでいくのが見られなくなり、鳴き声も聞こえなくなつたようで、何かさみしい思いがします。

定かな記憶ではありませんが、東日本大震災後、聞いていない気がしませんか？

ことも聞いていませんが、何方様かカッコウの鳴き声を聞いた方があれば知りたいです。あまり自然の事は気にしない方ですが、少し気になりましたものですから…。

誰かカッコウを知りませんか？

西館 隆(船越・81)

神のみぞ知る

平成20年4月8日 大船渡においてワカメ養殖業者が、漁期終盤で海難事故の犠牲となつた。あの清徳丸事故以降、海難につ



いて感心が薄れる事がないうちに、青森県陸奥湾のホタテ漁解禁日の大参事、誠に悼しい海難が多い。

明20日、漁協指定日。沖へ出る日、風が良くない。外は雨。

事故について己の啓発を高めなければと、意識しながらテレビに向かった。

その時、山田町船越ホタテ養殖業者の事故と報道。何で目の前の漁場で、と信じ難い衝撃が脳髓を貫く。ワカメ、ホタテ業者とも救命具の未着衣を報じていた。

命を守り、愛する家族を守る救命具の着衣を怠つたばかりに、命を守り家族を守ることが出来ない。

家族の方々の心境は——。4月1日から施行された、一人で漁労航行の場合の救命具の着用義務の法令が生かされず、誠に残念である。

ワカメ養殖業者の詳細については何ら知るよしもないが、己の海難と重ね合わせてみた。

年齢の違いこそあれ、お互いに夫婦船、そして救命具の着用についても全く同じ状態なのに、なぜ——。

まさに運命と天命の分かれ道とはこの事なのか。真実については神のみぞ知る。

山崎 卓三(大浦・?)